

～カゴメの健康サービス事業～

**福島県「市町村先駆的健康づくり実施支援事業」に3年連続採択**

～県内5つの町村を対象に、野菜充足度がわかる「ベジチェック™」を活用した健康サポートプログラムを実施～

カゴメ株式会社(代表取締役社長:寺田直行 本社:愛知県名古屋市)の健康サービス事業(\*1)は、一昨年、昨年に続き、福島県が推進する健康長寿ふくしま推進事業の一環である「市町村先駆的健康づくり実施支援事業」として採択され、今年福島県5つの町村(大玉村、小野町、矢吹町、猪苗代町、大熊町)を対象に、健康づくりを支援いたします。

※2017年度は大沼郡三島町、2018年度は伊達郡国見町を対象に実施しました。

福島県では、住民の健康寿命延伸の実現のためには、生活習慣病の予防・改善を図ることができる効果的・効率的な事業を実施する必要があると考え、民間企業のノウハウを活用した市町村の先駆的な健康づくりを支援する「市町村先駆的健康づくり実施支援事業」を実施しております。

当社は、「健康寿命の延伸」という社会課題の解決に貢献するため、トマトをはじめとする野菜に関する知見を活かした健康サービス事業を行っており、この度、福島県の「市町村先駆的健康づくり実施支援事業」に採択されたことを受け、県内の5つの町村へ、健康サポートプログラムを提供いたします。

本プログラムは大きく4つのコンテンツが含まれ、①野菜摂取の重要性、メリット、メソッドを楽しく、わかりやすく伝授する、「野菜と生活 管理栄養士ラボ®」によるセミナー、②朝ベジ運動®(\*2)4週間チャレンジ、③ベジハンド®(\*3)レコーディング、そして本年は新たに、④野菜摂取の充足度がわかる「ベジチェック™(\*4)」の測定会も予定しています。

本プログラムを受講いただくことで、生活習慣病予防・改善に向けた、意識・行動変容を促し、福島県の皆様の健康増進を図ります。

カゴメは将来のありたい姿を「食を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的に成長できる強い企業」としており、野菜を手軽においしく摂取できる商品や健康サービスの提供を通じて、さらなる健康寿命延伸に貢献して参りたいと考えております。

### \*1 カゴメの健康サービス事業

当社では、主に法人や自治体向けに、健康増進をサポートするプログラムを開発・販売しています。食と健康のプロである当社の管理栄養士によるプロジェクトチーム「野菜と生活管理栄養士ラボ®」には、管理栄養士資格保持者48名(2019年10月時点)が在籍し、その一翼を担っています。野菜摂取の重要性、メリット、メソッドを伝えるセミナー、メニューレシピ、料理教室、食育コンサルティング等を通じて、食生活の改善や野菜摂取をサポートします。



### \*2 朝ベジ運動®4週間チャレンジ

厚生労働省「健康日本21」では、野菜摂取量の目標は1日350gとされていますが、「平成29年国民健康・栄養調査」によると野菜摂取量の平均値は288.2gで、目標値を下回っています。

カゴメの調査(\*\*)では、朝に野菜を摂っていない人は、1日の野菜摂取量が少ない傾向にあることがわかっており、忙しい朝でも手軽に野菜を摂取できる野菜の加工食品を活用する「朝ベジ」習慣を提案しております。

「朝ベジ運動®4週間チャレンジ」は、目標を自分で設定することで自己効力感を高め、野菜摂取を習慣化させることを目的としています。また、朝ベジ運動®初日と最終日にベジチェック™測定会を行い、野菜摂取の充足度を数値化することにより、行動変容を促します。

(\*\*)2016年8月1日リリース：8月31日は「野菜の日」野菜摂取実態に関する意識調査 <https://www.kagome.co.jp/company/news/2016/002698.html>

### \*3 ベジハンド®

1ベジハンド(片手1杯)を野菜60gとしてカウントし、毎日の野菜摂取量の確認と記録を簡単に行います。1日に6ベジハンド(約360g)、350g以上の野菜摂取を目指します。



### \*4 ベジチェック™

手のひらをセンサーに当てるだけで、野菜摂取の充足度が表示される機器です。皮膚のカロテノイド量を測定することで、野菜摂取の充足度を120段階(0.1~12.0)で表示するとともに、野菜摂取量の推定値(g)を表示します。数十秒で測定が完了することから、利用者がその場で結果を見ることができる簡便さが特長です。



<報道機関様むけのお問い合わせ先>

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 鶴田・太田

TEL:03-5623-8503